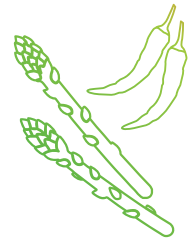


丸 亀 市 の 未 来 を 築 く



丸亀市の未来をみんなで考える本

丸亀市人口ビジョン・丸亀市未来を築く総合戦略 概要版



人口減少社会の到来

日本では、明治時代以降、急激なペースで人口が増え始め、20世紀初頭に5,000万人だった人口はわずか100年で急増し、2008年に1億2,808万人とピークを迎えました。

しかし、今、人口は急激に減少を続け、100年で急増した人口は同じ速さで減少すると予測され、2100年には、5,000万人を割る計算となっています。

私達の身近な暮らしではいかがでしょうか。

「最近、高齢者が増えた」

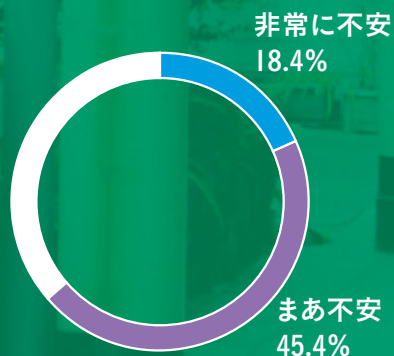
「空き家が増えた」

「地域の集まりが減ってきた」

こうした声は、人口減少がはじまっていることを意味しているのです。

人口減少は不安


アンケート調査の結果から人口減少に対して、多くの方が不安に感じています。



若い人が
都会に行ったまま
帰らない

近所のあの店
閉まるらしい

結婚する時期が
遅くなったような



最近、
子どもの声が
少ないね

ひとり暮らしの
高齢者が
増えてきたよね

介護が
大変だと聞く

地域の集まりが
減ってきた

人手不足の会社が
増えているみたい

地域によっては
空き家が増えている
らしいよ

よってきなあ〜
みたから市
毎日毎日上曜日

国立社会保障・人口問題研究所による今後の人口推計では、丸亀市の総人口は2010年の110,473人から2060年には約30%減少し、77,361人になると予測されています。

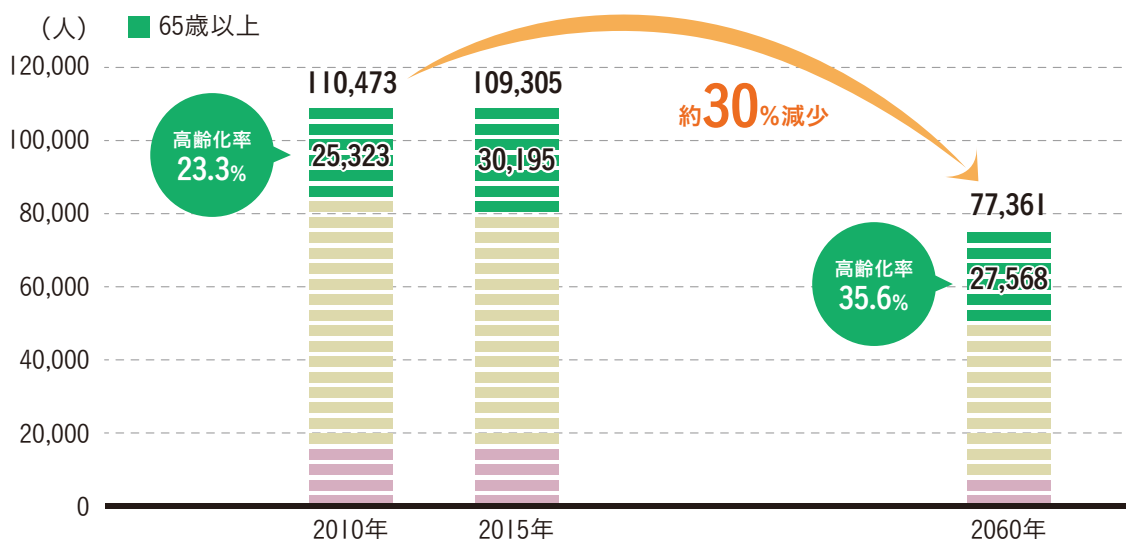
また、高齢化率（総人口に占める65歳以上の人口の割合）は、2010年の23.3%（約4人に1人）から、2060年には35.6%（約3人に1人）になると予測されています。

人口は45年後に 約30%減少 高齢化率は 35.6%に



丸亀市の人口推移

丸亀市の人口は11万人以上をキープしていますが、80,000人を下回る予測が出ています。



資料：2010年は国勢調査、2015年、2060年は推計値
(国立社会保障・人口問題研究所)

人口減少によって想定される影響

1 マンパワーの低下により地域力が弱くなります。

地域の伝統行事や祭りの担い手が減少し、生活の中のちょっとした困り事の解決も難しくなるなど、地域活力の低下が懸念されます。

2 行政サービスの維持が難しくなります。

税収や対象者の減少のため、公共施設や行政サービスの維持が難しくなり、日常生活に支障が生じる可能性があります。

3 生活レベルの低下が懸念されます。

労働力の減少や消費の低下が地域経済の衰退を招き、失業や生活困窮など思いもよらなかった生活の危機に直面する恐れがあります。

4 経済的な負担が増加します。

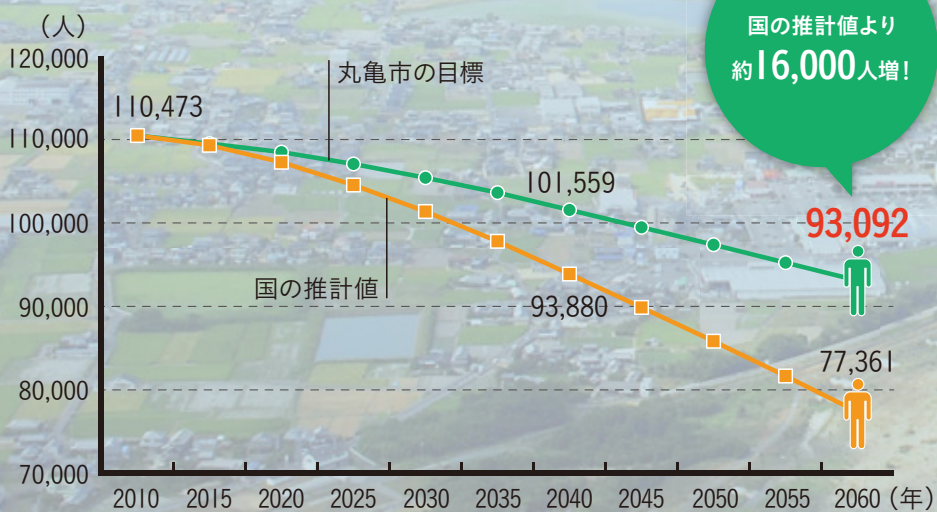
少子高齢化を伴うことにより、年金・医療・介護などの社会保障に係る財政負担が大きくなり、納税などの負担が大きくなりかねません。

2060年に向けてめざす 丸亀市の姿

丸亀市では、2060年の目標人口を93,000人に設定しました。その目標人口を達成するために、めざすべき将来の方向性として「合計特殊出生率の向上」「転出抑制と転入促進」「さらなる魅力と安心の醸成」を掲げています。

丸亀市人口ビジョンにおける 人口の将来展望

2040年時点 **101,000人** → 2060年将来人口展望 **93,000人**



丸亀市の目標人口とは・・・

人口の変動に影響を及ぼす出生率や人口移動に関する仮定値を設定し、丸亀市独自で推計した目標値となります。

人口減少の影響を最小限に抑え、 目標人口に向けて これから丸亀市が取り組むこと



生まれる 子どもの数を増やす

丸亀市の出生数は年々減少が続いています。

子どもを産み育てたいという希望を叶えられる環境づくりに努め、丸亀市で生まれる子どもを増やします。

⇒P8 自然増をめざす

丸亀市に ずっと住んでもらう

丸亀市では、新たに転入してくる方も毎年一定数いますが、進学や就職を機に丸亀市を離れる若い世代も多くいます。

若い世代の転出抑制やリターンにつながる施策に取り組み、丸亀市にずっと住んでもらえる人を増やします。

⇒P9 社会増をめざす

暮らしやすい 丸亀市を守る

「暮らしやすさ」は丸亀市の最大の魅力であり、今後もその魅力を守っていかなくてはなりません。

丸亀市の特性を生かしながら、豊かに安心して暮らせる地域社会をつくっていきます。

⇒P10 魅力を高める
⇒P11 安心を高める

人口の自然増をめざす



“丸亀でもう1人子どもを育てたくなる”

子どもを産み育てていく上での不安や負担が和らぎ、もう1人子どもを産もうという気持ちになれるよう、その期間を通じて寄り添っていきける体制を整えます。

主な取組

- ① ワーク・ライフ・バランスの推進
- ② 結婚・妊娠・出産・子育てに対する不安の解消
- ③ 子育て環境の充実
- ④ 健康長寿の促進

取組によってめざすこと

- 男性育児休業を取得した人の割合…………… 1.6% ▶ 15%
- 第3子以降の出生数…………… 260人 ▶ 280人
- 待機児童(年度途中を含む)…………… 0人 ▶ 年間通じて0人を継続
- 地域子ども・子育て支援事業実施箇所数…………… 55箇所 ▶ 69箇所など

めざすべき姿

出生数 その年に生まれる子どもの数

5,091人
(2010~2014年)



4,900人
(2015~2019年)

【目標値の考え方】

丸亀市では、1年間に生まれる子どもの数は年々減少が続いています。現状のままいけば、2015~2019年の5年間で生まれる子どもの数は、約4,800人程度にまで減少するとされています。今後、更なる子育て支援に取り組むことで、1年間に生まれる子どもの数を増やし、出生数の減少を抑制します。



“大人になって丸亀に帰って来る”

若い世代が外へ出て行かなくても、また、一旦外に出た後に帰って来ても、自らが思い描く夢を実現できるよう、働く場や学べる場を確保します。

主な取組

- ① 丸亀が大好きな子どもの育成
- ② 働く環境の充実
- ③ 地域産業の活性化
- ④ 移住の促進

取組によってめざすこと

- 丸亀に愛着を感じている市内高校生の割合 ……………54.5% ▶70%以上
- 定住自立圏域合同就職面接会による内定者数(累計) ……………12人 ▶30人
- 中心市街地の空き店舗・空きオフィス等活用促進補助件数(累計)
……………2015年事業開始 ▶10件
- 移住関連フェアやイベントでの相談件数(累計) ……………0件 ▶150件
など

めざすべき姿

社会増減数 丸亀市に転入した人と転出した人の差引の数

+476人
(2010~2014年)



+500人
(2015~2019年)

【目標値の考え方】

丸亀市では、進学や就職を機にした若い世代の転出が多くあります。若い世代の流出が続けば、人口減少が加速するだけでなく、これからの地域を担う力を失うことにもなります。若い世代が転出しなくても良いように、また丸亀市に暮らしたくない人が、住んでみたいと思えるような環境を整え、転出者の抑制と転入者の増加による社会増をめざします。



“キラリと光る丸亀の魅力発信”

新しいひとの流れを作り出せるよう、他の地域にない魅力、強みを生かすとともに、全国に向けて、効果的な情報発信を行います。

主な取組

- ① だれもが輝くまちづくり
- ② 地域の魅力発信の強化
- ③ 地域資源を生かした観光振興
- ④ スポーツによるにぎわいづくり
- ⑤ 定住自立圏構想の推進

取組によって めざすこと

- 地域ブランド調査での認知度…………… 181位 ▶ 150位以内
- 市内観光入込客数…………… 242万人 ▶ 270万人
- スポーツ合宿実施日数(累計)…………… 0日 ▶ 150日
など

めざすべき 姿

休日滞在人口率 休日に丸亀市で滞在した人と丸亀市の人口の比率

1.95倍
(2015年)



2.0倍以上
(2019年)

【目標値の考え方】

丸亀市には、歴史・文化・芸術といった地域の財産やスポーツタウン活動など、特色あるまちの魅力がたくさんあります。これらの魅力を更に広げ、また新たな魅力も発掘しながら、効果的に発信することで、「訪れたいまち」として認知度を高めていきます。そうして、市外からたくさんの方が訪れることで、まちの賑わいを生み出します。

地域の安心を高める



“全市民が全市民を助け合う丸亀型安心地域づくり”

子どもからお年寄りまで、だれもが地域で安心して暮らせるよう、全市域を網羅する地域コミュニティを基盤として、温かく見守り、支え合う地域をつくります。

主な取組

- ① 暮らしやすいまちづくり
- ② 生活不安の解消
- ③ 地域コミュニティの進化
- ④ 緊急時の安全確保

取組によって めざすこと

- コミュニティバス乗車人数……………252,863人 ▶ 260,000人
- 不登校児童生徒の割合……………1.76% ▶ 1.2%未満
- 介護医療情報システム登録者数……………2015年導入予定 ▶ 1,500人
- コミュニティセンター利用者数……………260,088人 ▶ 300,000人
など

めざすべき 姿

現在、困りごとや不安が特にないと答えた人の割合


32.3%
(2015年)



40.0%以上
(2019年)

【目標値の考え方】

人口減少や少子高齢化の進行を背景に、地域の抱える課題は複雑化・多様化しています。生活支援の充実や、支援を必要とする人への総合的な援助による安心確保に取り組み、互いに助け合える地域コミュニティを形成することで、困りごとや不安を解消し、丸亀市に住む誰もが安心して暮らし続けられるまちをめざします。



地方創生は、新しい未来を切り拓く取組であり、そこで大切なことは、一人ひとりの意識や価値観を変えることです。

丸亀においては、豊かな地域資源や恵まれた環境、丸亀ならではの強みと特色を生かした取組を進めていくとともに、時代に合わせたイノベーション(新たな挑戦)の発想により新しい価値を創造し、一人でも多くの人の心に「丸亀が好き」という思いを育みます。

そして、未来に向かって希望を持ち、豊かに暮らしていただけるまちを創ります。

目標人口(2060年)
93,000人

／ 共に未来を築こう！ ／



丸亀市の未来を築く

発行：丸亀市市長公室政策課／〒763-8501 丸亀市大手町二丁目3番1号／電話：(0877)24-8839(直通)／FAX：(0877)24-8860